

## ～ 理事長事業方針 ～

公益社団法人白河青年会議所  
第61代理事長 金子 善弥



スローガン

# 百花繚乱

～白河JC、咲き乱れよ～

## 基本理念

尊敬と尊厳を持って行動し、  
しらかわ地域の未来を築き上げよう

### 【はじめに】

昨年度、私たち公益社団法人白河青年会議所は人間で言うところの還暦にあたる創立60周年という大変大きな節目を迎え、沢山の方々にご支援・御協力をいただき、記念式典・大懇親会・沢山の記念事業を無事に遂行することが出来ました。心より感謝申し上げます。

長年に渡り白河青年会議所を地域の方々と共に築き上げて来られた敬愛して止まない諸先輩方の熱い想いを改めて考え、これからも地域に根ざして唯一無二の存在になっていくために、現役メンバーとして何をすべきかを考える貴重な経験をさせていただきました。

「還暦」という言葉には一巡して生まれ変わる、という意味も込められています。我々は今一度原点に還り、多種多様な団体や組織が存在しモノが溢れ

ているこの時代に活動している中で、新たな価値を創造する事で地域に求められ続ける強い組織作りが必要です。

これからも地域に愛され、地域に貢献できる JC と誰もが誇れるまちを目指して、2019 年度は仲間と共に多様な力が花咲き乱れるかの如く邁進して行きます。

### 【創始の志】

戦後の焼け野原に日本の憂いを覚えた志高い青年が立ち上がり、敗戦の復興と豊かな社会の実現を理想とする青年会議所が日本各地で設立されました。そのような中、白河青年 会議所は 1959 年 7 月 18 日に全国で 166 番目の青年会議所として認証を受け、白河市・西 郷村・泉崎村・中島村・矢吹町を活動エリアとし志高い 8 名のメンバーによって輝かしい 一步を踏み出しました。

創立より 60 余年、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。物質的な豊かさを得られた一方で少子高齢化、教育現場でのいじめや無責任な凶悪犯罪、老々介護問題、家庭内 暴力、人生 100 年計画に対する準備や、超高齢化社会を迎えるにあたり雇用・医療・福祉 など影響を与えるであろう 2025 年問題。この他にも様々な社会問題を抱える日本ですが、 同じ国、そして地域に暮らす当事者として我々が出来る事と向き合いながら、創始の志を引き継ぐ者として地域が抱えている問題を見出し、未来を切り拓く使命を旨に力強い行動 をとって参ります。

### 【機会の提供からひとづくり、そしてまちづくりへ】

まちづくりの定義は無限に広いものですが、私たちはひとづくりこそ未来のまちづくりに直結する一番の近道だと考えます。繰り返しになりますが、物質的な豊かさを得られた一方で「個人主義・合理主義」と言われる個別の幸福を求めすぎである昨今、感謝の心や仁の心、結の精神が欠乏した人ばかりの世の中では、地域を抱える問題を解決するスタートラインにも立てません。私たち日本人が古来より持ち得ている相手を思いやり、互いに助け合える日本のここ

ろの醸成が物質的な豊かさから精神的な豊かさにつながり、それが JC が抱える明るい豊かな社会の実現に繋がるのではないのでしょうか。

また、観光や消費活動、あるいは地域の外から人が集まり経済効果が活発になれば、それは確かにまちの活性化と言えるでしょう。しかし着眼点を変えれば別な一面が見えてきます。「まち」は「ひと」が住み暮らすからこそ「まち」であります。つまり、「まちの活性化」とはその地域内で暮らす人々の交流が今以上に持たれることであり、人的交流の促

進を創り出すことが私たちの取り組むべき「まちづくり」と捉えます。青年会議所が架け橋となり地域住民同士、または団体と団体の交流を持てるきっかけを創り出し、地域コミュニティを創造して行きましょう。

幸いにも我々には長年培われてきた青少年育成事業とまちづくり事業のノウハウや小中高学生を対象とした選挙教育プログラム「みらいく」、昨年策定させていただいた中長期ビジョン等の多岐にわたるツールや知的財産があります。それらをただ活用するだけでなく、今の時代に合った付加価値やしらかわ地域が誇る有形・無形に関わらない様々な「まちのたから」を組み合わせ、会員ひとりひとりがより良い機会を提供する事で、より良い効果を目指します。そういった機会を提供することで地域色豊かなまちづくりが図られ、無限の可能性が引き出せるのです。

#### 【人財こそ飛躍の原点～多くの同志と共に～】

本年度は会員 40 名でのスタートとなります。ここ数年の会員数の推移を見るとほぼ同数ではありますが、一時 100 名を越すメンバーが在籍していた時期に比べ、大きく減少しているのが現状です。また、40 名という人数は魅力的な事業を行っていくには危機的状況にあると考えております。会員数の減少は白河青年会議所のみならず、全国の青年会議所で共通の問題となっていますが、この一因として類似団体の増加が考えられます。多くの人々にとって青年会議所に入会せずとも、それぞれの想いを果たせる場が増えたと言えます。

しかしながら、青年会議所に入会していなければ得ることが難しい、他団体にはない長所を私たちは知っており、まだ出会わない多くの若者に学舎である

この団体の素晴らしさを知って頂き、共に行動したいという意欲を呼び起こすことができれば会員の拡大は自ずと図られるのだと考えております。

一つに様々な「経験」の場を提供することを団体の使命として持っていることがあげられ、それは例会の際に読み上げる JCI ミッションにも見て取れます。— 青年が積極的な変革を創造し開拓するために、能動的に活動できる機会を提供する— 企業は経営者の器以上にはならない、とよく言われますが、それは「経験」がその人の器を変える本質であるからなのです。

青年会議所は 1 年ごとに役職が変わる単年度制を設けていることから、昨年は外部に発信する事業に関わっていたメンバーが翌年には内部の運営に係るといったことが良くあります。新しい役職をこなすということは一種の挑戦であり、青年会議所という団体は飽くなき挑戦を求めているのです。挑戦のない成長はありません。失敗を経て成功と成長が得られるのです。青年会議所は多種多様な挑戦が許され、自らを高めることができる特有で唯一無二の魅力的な学び舎であるのです。自ら機会を創出し、機会によって地域と自らを変える事が大切です。

我々が目指す「明るい社会の実現」には 1 人でも多くの会員が必要です。なぜ会員が減少しているかを見つめ直すと共に、多くの若者に経験や出会いの場を提供するという意識を持ち、活動内容を SNS や広告媒体で幅広く広報し、一人でも多くの理解者や協力を仰ぎながら今一度メンバー全員で真剣に情熱を持って会員拡大を行っていきます。

### 【品格をもった JAYCEE として失敗を恐れず果敢に挑戦しよう】

「奉仕」「修練」「友情」の 3 信条を基とした JC 活動を通して、最終的に最も還元されることは JC メンバー一人一人の人間力形成にあると考えます。我々は JC 活動を通して、自分の夢や目的を見出し、理想に向かって卒業後も理想を求め、果敢に挑戦していく青年であることを学ぶ場だと気付きました。

大きな事を成そうと志を高く持つものであればこそ、裏表なく実直に、他者に対しきめ細かな配慮を持って接しなければなりません。これは企業人であり、地域のリーダーでもある JAYCEE ならば尚のこと胸に刻まなければならない

ことです。誰に言われずとも自ら襟を正し、凜とした品格を持ちながら信念を持って挑戦して行きます。

#### 【2020年福島ブロック大会 in しらかわに向けて】

2020年に公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会第50回福島ブロック大会がしらかわの地で開催することが決まりました。

福島の地に根ざして公益社団法人白河青年会議所は60年を迎えた昨年、我々は故郷であるしらかわ地域の更なる明るい豊かな社会の実現をするべく、地域貢献の一端を担い、先の5年10年を見据えて地域住民の意識変革を伴う活動や、運動をこれからも進めていかななくてはなりません。そして、市民共有の財産である先人の痕跡を大切にしつつ、これからの若い世代と共に魅力溢れる社会を目指す必要があります。活動拠点とするここしらかわの地で、地域の現状と魅力を発信することが、市民へ向けた青年会議所の存在意義の周知だけに留まらず、市民とJCが協働で福島の未来を創るきっかけになると考えます。

その為にも来年に向け、しらかわ地域の魅力を最大限にPRする事が出来、しらかわ地域から福島の未来を創るきっかけを一人でも多くの市民に感じてもらえるような準備を、白河JCメンバー一丸となり進めてまいります。

#### 【大地としての存在】

我々が行う運動や活動の財政面は大地となる部分であり、根幹となる最も重要な部分となります。この財政面を、厳しく、優しく、そして数字的に判断し的確な大地を作り、いい事業ができるようにすることが必要です。

2010年に公益法人格を取得した白河青年会議所は、様々な公益事業を企画し実行してきました。この知識と経験を活かし、行政や企業との協力体制を築き、地域から頼られる団体となることが、公益社団法人としての使命であります。我々は公益法人としての役割を果たし、斬新なアイデア、行動力、そして情熱で地域を動かし、まちを造り上げます。

【おわりに】

私の好きな映画「七人の侍」の中で「人を守ってこそ自分も守れる。己の事ばかり考 える奴は己をも滅ぼす」という言葉があります。

これは人だけでなく地域にも言える事ではないでしょうか。思いやりと感謝の心を持ちひとを尊敬し地域を尊重し、自分から与える側にまず立つことで、いつかは自分にも還元され、強い地域が形成され、その経験がかけがえのない財産となるはずです。

昨日より今日が良い 1 日であったと言えるように。

今日より明日が良い日になるように。

その先に大好きな故郷である、しらかわ地域が世界に誇れる地域となることを願って。

## ～ 三 役 ご 挨拶 ～



直前理事長 有賀 一裕

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は、皆様の御協力と御支援を賜りまして、誠に有難う御座います。第59代理事長という責任の重さを感じながらも、皆様に支えて頂き、無事に全う出来たこと、この場を借りて深く感謝申し上げます。

さて、設立60周年にあたる記念すべき2018年度は、直前理事長として皆様に頂いた御恩を（公社）白河青年会議所の活動・運動を通し、しらかわ地域発展の為、そして、ふくしまの発展の為に、これまで学んできた事を活かして参りたいと思います。また、本年は（公社）日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会へ出向させて頂き、県南エリア担当副会長として、そしてアカデミー委員会の担当として、未来を担う福島県内の若手青年経済人40名程度を各地域で真のリーダーとして活躍できるように、イノベーション人財を育成させて頂きます。明るい豊かな社会の実現に向け、未来へ向けて、本年も活動・運動をして参りまと思っております。皆様の変わらぬ御指導、どうぞ宜しくお願い致します。



企画室担当副理事長 片野 正人

新年明けましておめでとうございます。本年、企画室担当副理事長の役職を仰せつかりました片野仁人と申します。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

当青年会議所は、昨年、創立60周年を迎えました。今年は、61年目の歩みを進めていく一年となります。我々企画室は、当青年会議所内の例会及び事業が、より良い成果を上げることができるよう、会議体及び事業実施の際など、全力でサポートしていく所存でございます。我々には、経験や実績等、先輩方には及ばないところがあるかと思えます。しかしながら、我々が持つ青年としての発想や行動力を用いて、明るく豊かな希望あふれるしらかわ地域となるように、未来を見据えて邁進することをお誓い申し上げ、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

財政室担当副理事長 有賀 毅



新年あけましておめでとうございます。昨年は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度財政室担当副理事長を仰せつかりました有賀毅と申します。どうぞ一年間よろしく願い申し上げます。

さて、財政室は2010年度より公益社団法人格移行に伴ってきた機関でございます。県内でも最も早い公益社団法人として歴史を重ねて参りました。先輩諸兄が作り、そして繋いできたこの機関をしっかり理解し、次の方へと繋いでいく所存です。

未来創造担当副理事長 金澤 史典



新年あけましておめでとうございます。昨年は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度未来創造担当副理事長を仰せつかりました金澤史典と申します。どうぞ一年間よろしくお願ひ申し上げます。

百花繚乱～白河 JC、咲き乱れよ～の金子理事長のスローガンのもと、地域の未来像を市民と共に創るべく邁進してまいります。委員会には微力ではございますが、今まで自分が経験してきた事を伝え、メンバー一人ひとりが咲き乱れるような、そしてこの地域の方々が咲き乱れられるような一年間にしていきたいと思ひます。鈴木委員長の想ひが実現できるよう、全力でサポートしていく所存です。どうぞ一年間よろしくお願ひ申し上げます

未来育成担当副理事長 成井 匠



新年あけましておめでとうございます。本年度、未来育成委員会担当副理事長を仰せつかりました成井匠と申します。

しらかわ地域の未来を支えるもの。それは、白河を支えていくための未来を担う人材の育成にかかっていると考へます。行政の施策や多くの補助があつても、そこに根付く地域の人々の意識が地域を向いていなければ、その効果も十分に発揮されません。また、私たち青年が今現在、運動や活動を行つていても、将来にわたつて継続できる人材がいなければ、やはり地域の活性化は見込めません。本年度、未来育成委員会に任されたのはまさにこの部分になると考へます。地域愛を育み、地域に誇りをもつて生活できる、そしてこの街をより良くしたいと思ふ仲間を育て、継続的な活動・運動を行える体制を作る。これらを目的とし、本年度理事長のスローガン「百花繚乱」のもと各メンバーがそれぞれの持つ特色を活かし、最大限の効果を上げることでできるよう、小磯委員長としっかりと事業の計画を練り、展開していきたいと思ひます。どうぞ一年間よろしくお願ひ申し上げます

専務理事 上田 雄介



新年明けましておめでとうございます。

金子理事長より専務理事という大役を仰せつかりました上田雄介です。

「百花繚乱～白河 JC、咲き乱れよ～」のスローガンのもと、適材適所にメンバーという種が蒔かれました。そこに水や肥料を与えるのが使命であります。時には苦境に立つこともあるでしょうが、2019年度の満開の花が咲き乱れるよう、総務委員会と共に会全体の土台となり精一杯下支えしていく所存であります。

また61年目を迎えるにあたり、長きに渡り築き上げられた白河JCプライドと時代に合わせた新たな転機を融合させより強固な団体と



## ～ 監 事 ご 挨拶 ～

監事 十文字 俊之



新年明けましておめでとうございます。昨年は、直前理事長及び、福島ブロック協議会 アカデミー委員会担当並びに県南エリア副会長としても、格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。2019年は監事を務めさせていただきます。会員減少が全国的にも進んでおりますが、志を高く青年会議所の活動・運動を広げ、監事として立場をわきまえつつ、若いメンバーのフォローアップをしていきたいと思っております。どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。

監事 矢田部 展崇



新年明けましておめでとうございます。昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。2019年度監事を務めさせていただきます。公益社団法人の監事は、株式会社における監査役に相当する役員であり、その地位に伴う職責を果たさなくてはなりません。公益社団法人として、より透明度が高く、質の高い白河 JC であり続けるよう監事としての重責を果たして参ります。白河 JC は本年も理事長の所信のもと明確なビジョンを思い描き、その実現に向かって白河 JC は行動して参りますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## ～ 委員会紹介 ～

### 【 企画室 】

#### ●スローガン

## 唯一無二

## ～まだ見ぬ未来に光を放て～

#### ●メンバー

室長	片野 仁人
副室長	片桐 伸太郎
副室長	吉成 茂
室員	星野 泰史
	鳴島 慎介
	小室 進恭



#### ●事業方針

当青年会議所は、明るく豊かな社会を築くために行動しています。それを具現化して行動に示すのが、例会や事業です。我々の行動は、すぐには評価されな  
いかもしれません。しかし、当青年会議所の先人達が、当時放った光は、私  
たちが生きる現在を明るく照らしました。それは、当青年会議所が行動する意味  
を証明しています。今この時代を生き、この団体に所属する我々の行動が、ま  
だ見ぬ未来に、唯一無二の光を放つことができるよう、尽力して参ります。

#### ●事業計画

- ・全体事業の企画運営総括
- ・企画室スタッフ会議企画室会議の運営
- ・定例会の企画運営（2月）
- ・じゃがいもコンペ・卒業生追い出しコンペの企画運営
- ・新人セミナーの企画運営

## 【 財 政 室 】

### ●スローガン

# 名脇役

### ●メンバー

室 長	有賀	毅
福室長	緑川	正博
室 員	高橋	和弘
	北住	平
	渋谷	大介



### ●事業方針

- ①JC 活動・運動・事業の主体となる各委員会が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートを行う。
- ②専務と連携し、会の予算が効率的に運営されるよう努める。
- ③地域の子供達がしらかわを愛し未来を考えるきっかけを作るための事業の企画運営を行う。

### ●事業計画

- ・ 財政審査会議の企画運営
- ・ 定例会の企画運営（3月）
- ・ 「若竹」事業の企画運営
- ・ みらいくの企画運営
- ・ 10年後に届くハガキ発送事業

# 【 未来創造委員会 】

## ●スローガン

かんいまんおう  
敢為邁往

～地力を高め、問題の中に機会を見いだす。～

## ●メンバー

副理事長	金澤	史典
委員長	鈴木	恒平
副委員長	高橋	和弘
スタッフ	星野	泰史
委員	飯村	悟
	佐藤	貴大
	鈴木	豪彦
	永山	龍大郎
	蛭田	晋一郎



## ●事業方針

- ・しらかわ地域の未来像を市民と考える機会を提供する。
- ・メンバーの1人1人が当事者意識を持ち地力を高める。
- ・他団体との連携を強める。

上記三点を基に1年間活動運動をしてまいります。委員会メンバー共に地域内での組織の在り方や経済人としての当事者意識を持てるように成長します。

## ●事業計画

- ・未来創造に関する事業の企画運営
- ・定例会の企画運営（4月・6月・10月）
- ・観桜会の企画運営
- ・公開討論会の企画運営

## 【 未来育成委員会 】

### ●スローガン

けんかいふき  
狷介不羈

やわらかに、しなやかに、ゆるぎなく。

### ●メンバー

副理事長	成井	匠
委員長	小磯	洋晃
副委員長	北住	平
スタッフ	鳴島	慎介
委員	池田	尚弘
	大河原	理寛
	十文字	宗博
	中田	亮
	山口	寛史
	渡部	賢太郎



### ●事業方針

目まぐるしく移ろいゆく時代、物質的な豊かさを得られた一方で、目を向けない と忘れてしまいそうな大切な「こと」がきっとあると思います。変わらない価値観 を、今を、そしてこれからを生きてゆく若者に伝えたい。

そのために、一青年として、変化する社会の中の青少年の教育や、自然環境の理解という観点から、しらかわの未来を担う人財を育てる気づきや学びの機会を創出し、仲間たち、そして地域の人たちとの様々な経験を通じ、ともに成長していけるような事業、定例会の企画運営を行います。

### ●事業計画

- ・ 未来育成に関する事業の企画運営
- ・ 定例会の企画運営（5月・7月・9月）
- ・ 忘年会の企画運営
- ・ 会員拡大担当

## 【 総務・広報委員会 】

### ●スローガン

KEISHO×KIKUBARI×KOUJYOUSHIN  
(継承) (気配り) (向上心)

### ●メンバー

専務理事	上田	雄介
委員長	近藤	有美
副委員長	渋谷	大介
スタッフ	小室	進恭
委員	石川	格子
	塩澤	裕樹
	中上	誠
	橋本	恵一
	村田	力



### ●事業方針

・メンバーが花であるならば、総務・広報委員会は土となり、のびのびと花開けるような環境を作ることが私たちの使命です。61年目を迎える歴史ある白河青年会議所の伝統を継承しながらも、新しい色の花を咲かせられるような委員会活動を進めて参ります。また、広報としては地域活性の架け橋となる我々の活動を多くの人に発信することを積極的に行い、ひとりでも多くの心を動かすきっかけ作りをするため、白河青年会議所の活動を拡散していきます。向上心をもって取り組むことによりメンバーひとりひとりが1年後の自分に誇りと自信を持てるような委員会を運営して参ります。私たち総務・広報委員会は白河青年会議所の縁の下の力持ちとして尽力致します。

### ●事業計画

- ・定時総会の企画運営 (1月・8月・12月)
- ・定例会の企画運営 (11月)
- ・理事会の設営補佐
- ・新年会の企画運営
- ・卒業式の企画運営
- ・JC会館の管理運営
- ・SNSの管理運営
- ・専務の補佐

# 【 ブロック大会準備特別委員会 】

## ●メンバー

特別委員長	有賀	一裕
福委員長	片桐	伸太郎
	緑川	正博
委	池田	尚弘
員	大河原	理寛
	北住	平
	小室	進恭
	佐藤	貴大
	塩澤	裕樹
	鈴木	豪彦
	高橋	和弘
	鳴島	慎介
	星野	泰史
	矢田部	展崇
	山口	寛史
	渡部	賢太郎

